

「有明海・八代海等の再生に向けた連携強化」(H18. 6~)

【幹事】 熊本県 環境生活部 環境局 環境立県推進課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県

目的

海域環境が悪化し、漁獲量の大幅な減少が続いている有明海及び八代海等を再生するために、関係する6県(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県)が連携し、水質等環境情報や各種調査情報の共有化、住民への啓発活動などを実施することにより、総合的な環境対策の推進や調査研究等の活性化、流域住民の環境保全意識の醸成を図る。

取組内容・成果

平成16年8月、「有明海・八代海等再生推進連絡協議会」を設置し、以下の事項に関して取り組んでいる。

(1) 普及啓発活動の連携

関係県で実施される清掃、植樹、講演・研修などの普及啓発活動に関する情報の共有を図るとともに、統一ロゴを用いて「有明海・八代海等の再生」に向けた取組の促進と連携を図る。



4県共同の海岸清掃

(2) 調査研究の連携

○ 漁場環境の調査などを連携して行い、環境情報の共有化を図るとともに、測定結果を漁業者や研究者らに広く提供。



○ 有明海沿岸4県は、国と連携したタイラギ、アサリなどの有明海特産魚介類の資源回復に向けた取組を実施。

アサリ、タイラギなどの有明海特産魚介類の調査研究

アサリの再生産サイクルの形成に向けた母貝団地造成



タイラギの広域的なネットワーク形成に向けた母貝団地造成

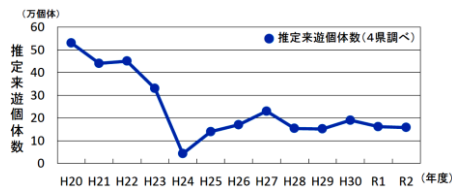


水産有用二枚貝を捕食するナルトビエイ捕獲調査



(ナルトビエイによるアサリの捕食状況)

※ H24年度以降、来遊量は減少傾向。毎年10~20万個体で推移



ナルトビエイ推定来遊量の経年変化(九州農政局資料)

今後の課題・取組

海域環境の保全、改善に関する施策及び水産資源の回復による漁業振興施策を継続して実施することが必要であることから、関係県の更なる連携強化を図り、普及啓発活動及び調査研究を充実させる。

(1) 普及啓発活動の連携

「有明海・八代海等の再生」に関する住民への啓発の促進を図るため、統一ロゴを用いて、各県が連携した清掃などの取組を継続していく。



(2) 調査研究の連携

漁場環境調査の連携や環境情報の共有を継続して実施し、引き続き漁業者や研究者らに広く情報提供していく。また、有明海沿岸4県では、国と連携したアサリ、タイラギなどの有明海特産魚介類の資源回復に向けた取組を推進する。